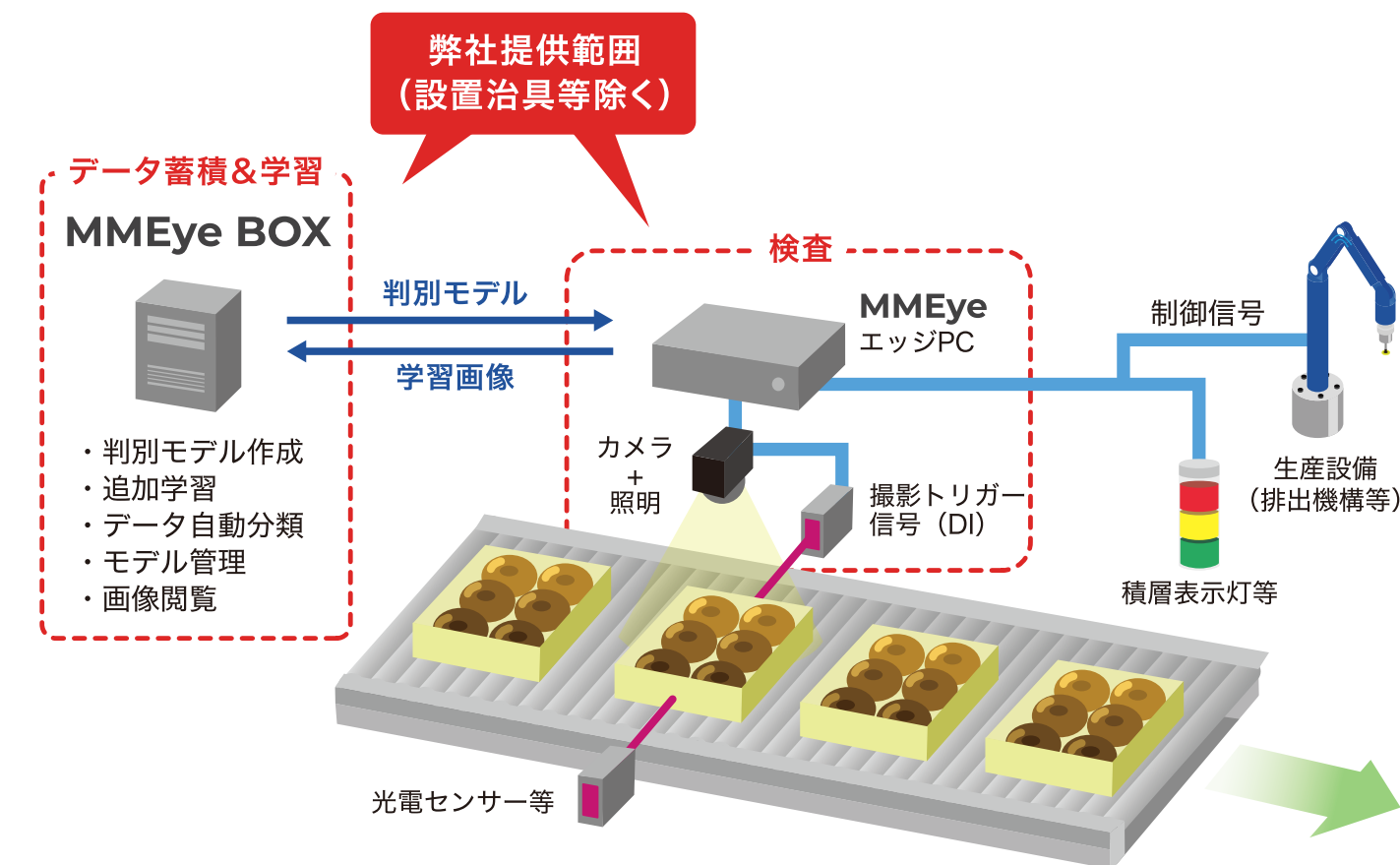




画面イメージ

判定モデル
作成イメージ

サーバー側

リアルタイム
判定イメージ

エッジ側



この製品には、
YEデジタルのAI「Paradigm」が
使われています。

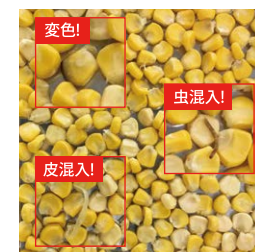
使えば使うほど賢くなる！当社独自技術

異常品のサンプルがなくても大丈夫。
正常品のみに、異常や不具合を判定できます。

導入事例集

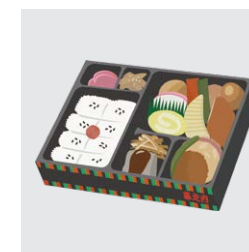
AI や画像処理の専門知識も不要！

今まで目視検査のバラツキが多かった課題を AI によりルール化し、
自動で判定します。



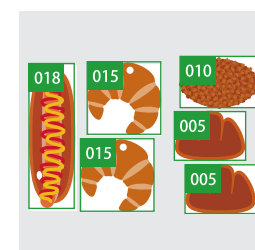
金属探知機で見つけ
られない異物は、人
の目しか頼れない？

異物混入検査



お弁当等の盛り付け
検査。
人手でやっていま
せんか？

トッピング検査



個体差？包装の光沢？
従来の画像判定では
区別に悩んでませんか？

個数カウント



個体差が大きな食品
の判定。
自動化を諦めていま
せんか？

食品検査

特徴

- AI が画像を学習し、物体検知・分類・異常検知を **自動で判定**
- 周辺装置との連携支援により、
排出・ロボットピッキング等の自動化実現をサポート
- モデルを作成するクラウドから現場用のエッジ PC まで提供することで、
システム構築の手間を削減、高速な処理を実現
- AI 判定結果に人による判断結果を追加学習させることで
熟練スタッフのノウハウを学習
学習を繰り返すことで、**検知精度を向上**

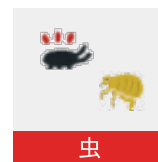
異物混入検知

AIならではの高精度な異物検知

事例 金属探知機では発見が困難な異物を検知 例) ひじきや昆布への混入物



ほかにも、人の目で見つけるのは難しい
このようなものを AI が見つけます！



AIが目視では見逃しやすい異物を検知
異物の種類や程度もAIで判定可能

トッピング・盛り付け検査

AIならではの！個体差があっても高精度に検知

事例 お弁当の具材チェック 例) 冷やし中華の具材



AIがおかずやトッピングを検査し、人に代わって異常をチェック

入数検査

AIならではの高精度なカウント機能

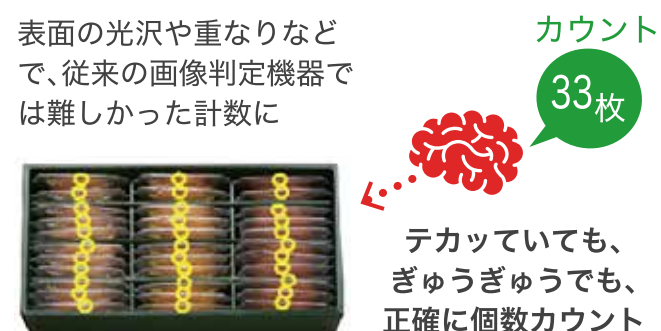
事例 1 個体差の大きな食品



食品の品種判定
+
個数カウント

AIが商品の入数を自動カウント

事例 2 箱詰めされた個包装食品



表面の光沢や重なりなど
で、従来の画像判定機器で
は難しかった計数に

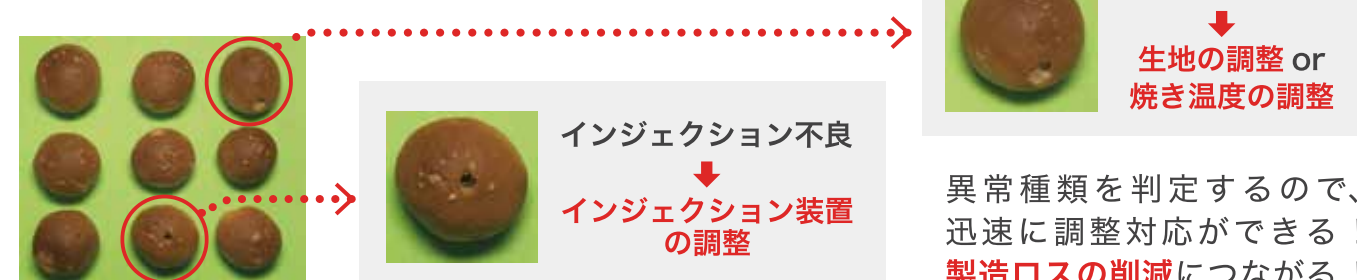
テカッていても、
ぎゅうぎゅうでも、
正確に個数カウント

商品が接触していてもカウント可能

個体差の大きい食品の判定

AIが「あいまいさ」を含む判定をルール化

事例 チョコレート入りクッキー



異常種類を判定するので、
迅速に調整対応ができる！
製造ロスの削減につながる！

焼色異常の判定
千差万別な異常品の選定(欠け、汚れ等)